

## LSA講座修了者の声

- ・とても分かりやすく実践的でした
- ・家で宿題をする時に試しに習った方法を使ってみたらいつもの半分の時間で済みました
- ・子どもたちから「お母さん優しくなったね」といわれました
- ・本人の話が聴けて親の気持ちとは違うことが分かった
- ・放課後の指導員をやっていますが早速役に立っています
- ・子どもの行動には理由があるとわかり、叱ることが減りました
- ・学校に話に行くのが苦でなくなり、具体的な対応を考えられるようになりました
- ・手探りだった支援が系統だててわかり、対応がスムーズになりました

### NPO法人エッジは

ディスレクシア(発達障害の中の学習障害でも特に読み書きの困難がある)の啓発、支援とネットワークを柱に活動しています。

#### ●「LSA養成講座」

2004年から手掛け多くの支援員を輩出し、通常学級をはじめ、放課後等児童デイや家庭教師など適切な支援ができる人たちを育てています

#### ●「BEAM」

音声化した教科書を無償で日本中のニーズのある方に提供しています

●ディスレクシア当事者の会、ディスレクシアセミナー、相談を通して本人が生きやすいようエンパワメントを行っています

●政府や各省に対して要望をだし、本来の力を発揮しやすい社会を創出します

### 星槎教育研究所は

子どもたち、若者たちが自らの可能性を伸ばし、いきいきと成長できることをめざし、

●幼小中学年齢より個に応じた社会性や学力を身に付けるための「**教育支援センター事業**」

●不登校・ひきこもりの子ども達の学びの場、友達作りの場、個性を認め合う場、癒しの場となる「**フリースクール事業**」

●若者に対し、自己理解やコミュニケーション能力を育て、職業能力の開発雇用機会の拡充・創出を支援する「**キャリア教育事業**」「**適応自立支援事業**」

●発達の視点を持った支援員を育成する「**資格認定・人材育成事業**」

●小中高生のSST教材や学習を支援する「**教材作成事業**」「**研究開発事業**」

などを行い、社会に貢献できるように努めています。

### お問い合わせ・お申し込みは

#### NPO法人 エッジ

ホームページ：<http://www.npo-edge.jp>  
メールアドレス：[edgewebinfo@npo-edge.jp](mailto:edgewebinfo@npo-edge.jp)

郵便番号、住所、氏名、年齢をお書き添えの上、下記まで

#### NPO法人 星槎教育研究所

ホームページ：<http://www.seisa.ed.jp/npo/>  
メールアドレス：[tokyo@seisa.ed.jp](mailto:tokyo@seisa.ed.jp)

# LSAとは？

Learning Support Assistant

通常の学級における発達障害の児童生徒を、ナチュラルサポートする支援員を指します。



LSAとは、主に通常学級内にいる発達障害の児童生徒に支援をできる支援員のことです。国では特別支援教育支援員と呼ばれ、地方交付税で各校に一人配置できる予算が組まれています。NPO法人エッジは2003年から東京都港区と協働で支援員を育成し、区内の学校に配置してきました。今その知見を星槎教育研究所と共同で日本全国に広げています。

## LSAの役割

2016年から実施される「合理的な配慮」の中でもすでに多くの学校などで取り入れられています。子どもたちに状況に合わせて適切な支援をすることで、子どもが自信を取り戻し、どのように学ぶか、どのように対応するかを身に付け、自立できるように、担任や指導者と連携を取りながら支援できるようにします。そのためには基礎的な発達障害や子どもの理解、多様な支援の方法、そして実践が伴うとよい結果が表れることが実証されています。学習支援員には、熱意や愛情はもちろん必要ですが、

**子どもたちが何に困っているのか、  
その原因は何か、  
どのような手助けをすればよいのか、**

知識と体験が必要です。

LSAになるまでの過程

入門コース

本コース

LSA

フォローアップ講座



# ナチュラルサポートするLSA (学習支援員) の3つの柱

## 基礎

発達障害 (LD (学習障害)、ADHD、広汎性発達障害 (自閉症、アスペルガー症候群)、協調性運動障害とは何なのか、特別支援教育とは等の基本的な知識を大学の教授などによる指導で学びます。

## STEP 1 1 概論

10日間計50時間かけて学んでいきます。

- ✳️ 学習支援員としての業務や心構え
- ✳️ 特別支援教育概論
- ✳️ 発達障害の理解とその対応
- ✳️ 医療面からの配慮メンタルサポート
- ✳️ 早期発見の見立てなど

## STEP 2 2 理解

学校内の状況や当事者の気持ちなどを現場の教員、保護者、成人した当事者の話、実際に支援に当たっているLSAの話などを通して理解する臨場感あふれる内容です。

- ✳️ 学級での支援の仕方、連携の仕方
- ✳️ 教育の現場：小・中学校
- ✳️ 保護者の声、当事者の声
- ✳️ 子どもの長所を生かすためのアセスメント
- ✳️ LD 疑似体験など

## STEP 3 3 支援

ソーシャルスキルトレーニング：応用行動分析、カウンセリングマインドなど実践的かつ具体的な支援の方法をワークショップも多く取り入れて現場で、経験豊富な講師陣と身につけていきます。

- ✳️ 実践サポート社会性コミュニケーション
- ✳️ 問題行動の理解と支援、行動面
- ✳️ ソーシャルスキルトレーニングを効果的に行う
- ✳️ 資格支援とビジョントレーニングなど
- ✳️ 見学実習：教室場面でのロールプレイングなど

## 成果

東京都港区ではすでに230名以上の講座修了者がいて、これまでに140名が公立の学校で支援に当たっています。他の地域でも支援に入る前に講習や研修を施してから配置する事が多くなってきており、公立校一校に一人は配置できるよう予算措置がなされています。

- ✳️ 支援のシステムが出来上がってきた
- ✳️ 不登校になった生徒ゼロ
- ✳️ 2年から3年でLSAを必要としなくなる

## LSAになるには

通常の学級における発達障害の児童生徒を、ナチュラルサポートする支援員を養成する講座です。発達の凸凹がある児童生徒は、日々目に見えない壁にぶつかっていますが、周囲の適切なサポートにより自分で学んでいく力を身につけることができます。また、放課後等のデイサービス・学童クラブ・児童館や学習塾など、活躍の場は多くあります。本講座は、このような児童生徒をサポートする支援員を養成しています。

### 入門コース

発達障害や特別支援、子どもへのかかわり方など支援者としての基礎知識を身に着けます。  
(E-learning <http://www.seisa.ed.jp/npo/support/lsa.html>)

### 本コース

より専門的に学ぶコースで、入門コース修了者が受講できます。本コース修了者には修了証とIDカードを発行します。

理論・理解 ▶▶ 支援方法 ▶▶ 実践 終了

### フォローアップ講座

フォローアップ講座も随時行っており、新しい施策などの学習や現場に出てからの悩みや経験を分かち合える場として提供しています。

### 講座の後

LSA の他にも発達障害を持つ人たちの学校以外の場での支援にも役立っています。また、支援員の実績をバネに教員の道に進むなど次のステップに進む方も多くいます。塾の講師、家庭教師、児童館の指導員、放課後の支援をはじめとして、メンター、カウンセリング、介助などです。他には、他の資格と合わせて、小学校の教員、保育士、不登校、ひきこもり、就労支援などにも役立ちます。

